

第5回下川町総合計画審議会会議 会議録

日 時 令和4年11月17日(木)
18時30分～19時00分
場 所 公民館3階研修室

出席者(下川町総合計画審議会委員)：

麻生 翼会長、川島里美副会長、品地和彦委員、伊藤友美委員、渡邊匡子委員、山本大三委員、高橋和之委員、奥村佐知子委員、藤原佑輔委員、野崎晃史委員、高松峰成委員、田中由紀子委員、三津橋弘茂委員、成田菜穂子委員、伊藤成人委員、山崎春日委員(欠席者：瀬川聖子委員、範國貴裕委員)

出席者(町)：

政策推進課 田村泰司課長、亀田慎司主幹、河合真悟主任、遠藤龍信主事

1 開会 18時30分

2 会長挨拶(麻生会長)

総合計画審議会の意見として、谷町長に中間報告を提出している。意見を伝えたいのでどのように反映された計画になっているかを意識しながら、議論を進めていただければ有意義な会議になるのでお願いしたい。

3 案件

(1) 令和4年度総合計画の見直しについて

町：概要説明

委員：地方債残高は、200%以内であれば財政運営標準内であると説明を受けたが、200%の根拠は国や道で決めているものなのか。

町：下川町独自で定めた基準である。

委員：基礎的財政収支(プライマリーバランス)が令和5年度から7年度まで赤字となっている。原則、黒字を目指しているという話であったが、赤字になるように見直しをしたのは、ハード事業が増えたことによるものだと思う。赤字になってまで実施する事業なのか。

町：基礎的財政収支(プライマリーバランス)の黒字化は、財政運営基準において、予算編成時だけではなく、総合計画の見直し時でも基準を満たす必要がある。歳出の多くが、公共施設の運営に関するもの、または、

公共施設の大規模改修に関するもので、厳しい状況である。

委員：総合計画審議会の議論の中でも公共施設の統廃合の意見が出ているにも関わらず、施設改修の事業が多いのは如何なものか。各部会で詳しく聞いていく必要がある。

委員：計画見直し前でも施設改修の計画はあったと思うが、増えた要因は、想定外の改修が必要になったからなのか。

町：年次計画的に改修しているものもあれば、今回の見直しで増えたものもある。

委員：地域情報通信基盤整備事業では、情報告知端末の更新をしないと聞いていた気がするが、金額が大きいところを見ると、再度更新するということか。

町：更新する計画で、850台分の予算が含まれている。

委員：今回850台を更新し、次にまた850台を更新するなどして、最終的に全てを更新する予定なのか。

町：850台のみ更新する予定である。

委員：850台の根拠はあるか。

町：スマートフォン等を持っていない情報弱者の方のための更新台数である。

4 その他
特になし。

5 閉会 19時00分